

寅さん歩 その 5-6

東京の桜 2018-1



平野武宏

その開花や満開がニュースとなり、花吹雪で散って行く桜は、やはり日本人の心には欠かせないものです。映画の寅さんも桜にはご縁があります。「さくら祭」の会場はテキヤの寅さんの商売の場、妹の名も「さくら」です。平成 30 年(2018年)の東京の開花宣言は昨年より 4 日、平年より 9 日早い 3 月 17 日でした。3 月 23 日の春分の日には雪が舞いましたが、その後の気温上昇で東京の満開宣言は平年より 10 日早い 3 月 24 日でした。東京の標準木は靖国神社の桜ですので、都内でも地域によって差があります。「寅さん歩 東京の桜」は2013年、2014年、2017年版を紹介してありますので参照ください。2018年は未紹介地区の桜を訪問順に紹介します。

〔東京工業大学の桜〕 (目黒区大岡山)



学食めぐりで訪問し、桜の季節に再訪問です。東急目黒線大岡山駅前に東京工業大学があります。写真左は本館前の広場の桜で、昭和 25 年(1950 年)の卒業生より寄贈されたものです。風雨に耐えて、今では堂々とした大樹の桜並木となり、地域の人にも愛される桜の名所となっています。3 月 25 日の撮影です。

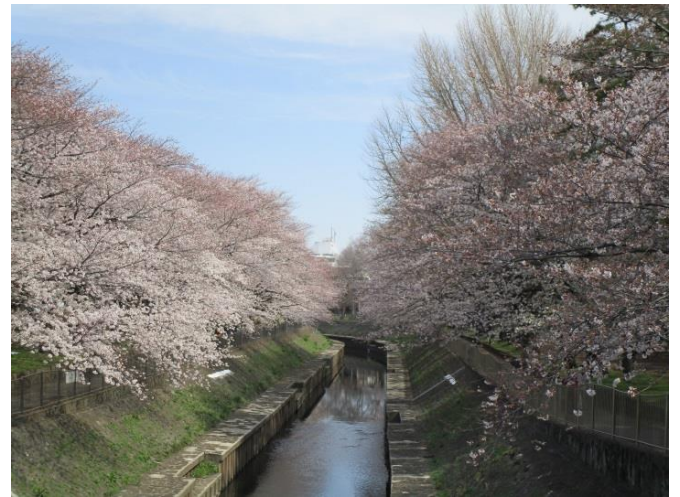
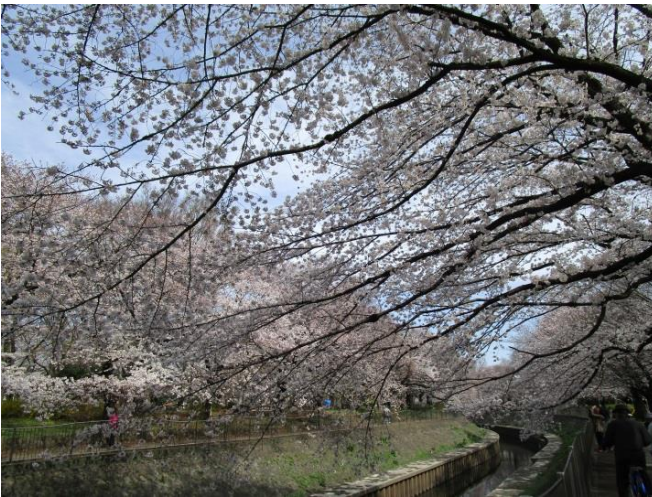
寅さん歩 その 18 東京の学食めぐり-4 を参照ください。
写真下は東京工業大学構内の桜です。



〔善福寺川緑地の桜〕（杉並区成田東）



丸の内線南阿佐ヶ谷駅から成田東4丁目方面に南下すると、善福寺川緑地があると都の広報で知りました。川の遊歩道には樹齢40年近い桜が約700本植えられています。3月26日の撮影です。相生橋から五日市街道と交差する尾崎橋までさくらが密集していました。



写真下は和田堀公園脇の桜、その先には約 1000 年の歴史を持つ、安産や子育てにご利益がある大宮八幡宮があります。東京のほぼ中心に鎮座していることから「東京のへそ」の別名があるとのこと。ここから京王井の頭線西永福駅はすぐです。



〔日本大学文理学部の桜〕（世田谷区桜上水）

写真下は京王線下高井戸駅前からの日大通りの桜並木で、文理学部正門近くです。地名は桜上水、日本大学の校章は桜ですね。3月26日の撮影です。



写真下は日本大学文理学部構内の桜です。



寅さん歩 その 5-7 東京の桜 2018-2 に続きます。

平野 寅次郎 拝